

第16期決算公告

ファイブスター投信投資顧問株式会社

貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金・預金	456,056	預り金	4,412
前払費用	1,992	未払金	825
未収運用受託報酬	8,451	未払手数料	55,659
未収委託者報酬	135,718	未払費用	24,723
未収還付法人税等	10,580	未払法人税等	1,082
立替金	5,840	未払消費税等	6,298
1年内回収予定の役員 に対する長期貸付金	1,171	その他	6,469
その他	8	流動負債計	99,471
流動資産計	619,820	固定負債	
固定資産		長期未払金	317
有形固定資産	1,382	固定負債計	317
建物附属設備	791	負債合計	99,788
器具備品	200	(純資産の部)	
その他	391	株主資本	542,480
無形固定資産	7,729	資本金	238,725
ソフトウェア	7,729	資本剰余金	101,725
投資その他の資産	13,165	資本準備金	101,725
投資有価証券	4,819	利益剰余金	202,030
差入保証金	4,603	その他利益剰余金	202,030
長期貸付金	1,130	繰越利益剰余金	202,030
繰延税金資産	2,611	評価・換算差額等	△170
固定資産計	22,277	その他有価証券評価差額金	△170
資産合計	642,098	純資産合計	542,309
		負債・純資産合計	642,098

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てております。

個別注記表

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - (1) その他有価証券（市場価格のない株式等以外のもの）

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
2. 固定資産の減価償却方法
 - (1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	8～15年	器具備品	4～10年
----	-------	------	-------
 - (2) 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
4. 収益及び費用の計上基準
 - (1) 運用受託報酬

運用受託報酬は当社が請け負う投資一任契約に係る報酬で、基本報酬と成功報酬が含まれております。基本報酬は主に、顧客との投資顧問契約で定める受託資産額、投資顧問報酬率、計算期間により算出された報酬金額を、役務を提供し、かつ当該金額が確定したときに計上します。成功報酬は、顧客との投資顧問契約で定める目標を達成し、当該金額が確定したときに計上します。
 - (2) 委託者報酬

委託者報酬は当社が運用・管理を行うファンドに係る報酬で、基本報酬と成功報酬が含まれております。基本報酬は投資信託の信託約款に基づきファンドの日々の純資産総額に一定率を乗じて算出された報酬金額を、役務を提供し、かつ当該金額が確定したときに計上します。成功報酬は対象となるファンドの信託約款に基づき超過収益が発生した場合に収益に一定率を乗じて算出された報酬金額を、当該金額が確定したときに計上します。
5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

当期純利益金額に関する注記

当期純利益 32,080千円

以上